

信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための短期学生海外派遣プログラム
実施状況および成果(広報用)

プログラム名	海外インターンシップ研修	
学部・研究科名	経法学部	
プログラム実施期間	タイ研修 2018年8月16日 ～ 8月26日 スリランカ研修 2018年9月17日 ～ 9月27日 マレーシア研修 2019年3月10日 ～ 3月21日	
研修先(国・都市・施設名)	タイ・バンコク及び近郊・SKR高校など スリランカ・コロンボ・ケラニア大学など マレーシア・クアラルンプール・帝京マレーシア日本語学院・マレーシアプトラ大学など	
参加者数：11名		知の森からの支援者：8名
プログラム概要	海外インターンシップ研修を通じて、日本政府の海外協力や企業の活動を肌身で感じ実体験を通じて国際感覚を身に付ける。日本企業の海外展開と日本とアジア諸国との関係を学ぶ。企業活動や社会課題の調査方法を身につける。海外研修先としてはタイ、スリランカ、マレーシアで実施。現地企業訪問・調査、現地学生との交流、経法学部へ留学生を送り出している教育機関での広報活動を中心とするインターンシップが主な活動。事前学習では、ワークショップ形式の授業により、研修を通じてどのような能力を身につけるか、明確化する。また、現地の政治経済事情と日本企業の現地でのビジネス展開を学び、企業訪問・調査(ヒアリング)の目的と質問事項を明確化する。さらに現地では、日本(信州)や大学の紹介をすることが求められるため、英語と日本語でプレゼンテーションの準備を行う。学生が自ら考え行動する能力を身につけることを重視する。	

実施状況・成果

タイ
(a) 事前学習を通じて、タイの政治経済と日本企業の海外展開について学び、現地で金融業、製造業、サービス業(人材紹介)などの様々な業種の企業を訪問し、ヒアリング調査を実施した。多様な業種と企業を訪問調査しレポートを作成することで、日本企業の海外展開や日本とタイ経済の結びつきについて理解を深めた。
(b) SKR高校において校長への表敬訪問、信州大学や長野、日本文化に関するプレゼンを行った。タイ人家庭にホームステイし、現地の暮らしに触れ、親交を深めた。日本語の授業(2日間)を任せられ、様々なレベルの授業プランを作成し実施した。
(c) 自分たちで授業内容を考え実施する経験を通じ、仕事に対する責任感を学んだ。改善点はあるものの、学生の授業や仕事に取り組む姿勢は、現地の生徒や教員から高く評価され、プログラムの継続を要請された。

スリランカ
(a) ケラニア大学において学長への表敬訪問、学内視察で学生等と意見交換を行うほか、学生から日・スリランカ比較に関して英語等でプレゼンを行わせた。
(b) 日本大使館等の6機関を訪問し、学生の問題意識(両国の経済状況・労働環境など)に関してヒアリングを行った。
(c) 事前学習としてJICA駒ヶ根研修所を訪問し、海外ボランティア事業に関してヒアリングを実施した。
(d) 学生は自分たちの問題意識(対スリランカODA政策、日・スリランカの労働規制等)に基づきレポートを作成し、事後の成果報告としてJICAの理事・スリランカ担当課長等に対して報告を行ったところ、学生のレポートを超えた内容であるとして高評価を得た。

マレーシア
(a) 事前学習を通じて、マレーシアの政治経済を学び、長野で新光電気工業とセイコーエプソンを訪問調査し、マレーシアでの訪問調査の課題を明確化した。現地で訪問調査を実施、レポートをまとめることで、日本企業の海外での事業展開とその課題に対する理解を深めた。
(b) マレーシアプトラ大学(信州大学オフィス)を訪問し、日本文化・教育、信州大学や長野に関するプレゼンを英語で行い、現地の学生と交流活動を行った。双方にとって意義のある交流となり、プログラムの継続を要請された。
(c) 帝京マレーシア日本語学院にて、広報事業を中心としたインターンシップを行った。責任を持って仕事をすることを学び、学生の仕事も評価され、プログラムの継続を要請された。

学生の声①-経法学部 学生

スリランカ研修では、現地の日系企業の訪問を通じて経済調査の手法を学ぶことができました。また、JICAの青年海外協力隊の活動を視察したり、実際に活動していられる方の話を聞いたりすることで、日本がどのような形で他の国に援助しているかを理解することができました。この研修で得た経験を就職活動やそれ以降にも活かしていきたいです。

学生の声②-経法学部 学生

マレーシア研修では、日本語を学ぶ現地の学生との交流や日系企業を訪問しました。生まれた国や宗教の違いや同世代と交流出来ることは多くの刺激を受けましたし、グローバル化の進む現代では国際理解という点でも大切な事だと思います。また海外進出をしている企業を訪問調査する事で、日本との労働に対する意識の違いや国の文化的背景による特徴なども学ぶことができました。今回得た学びを今後の学生生活に活かしていきたいと思います。

